

主体的に運動に取り組む 児童の育成

本務校名：総社市立清音小学校
兼務校名：総社市立総社東小学校

配置教員名	森 葵唯
担当学年	1. 総社市立清音小学校 第3・4学年 2. 総社市立総社東小学校 第2・3学年

Plan：取組時の課題と目的

1 取組時の課題

昨年度のアンケート結果より、両校で「体育の授業が楽しい」「運動やスポーツをすることが好き」が約80%に達していない学年が見られた。

新体力テスト(R7)の結果から清音小は、50m 走、握力、上体起こしに課題が見られた。総社東小は、握力に課題があったが、前年度から改善傾向が見られた。

2 取組の目的

(1) 4月、7月、12月、3月に体育授業アンケートを行い、全ての担当学年で「体育の授業が楽しい」「運動やスポーツをすることが好き」という児童の割合が90%に達することを目標に、日々の授業の充実や授業時間外の体育的活動の工夫で、「運動が楽しい。運動が好き。」という児童を増やし、運動の習慣化を図り、体力向上につなげる。

(2) 新体力テストの結果から見えた、弱みの部分を強化できる環境を作り、来年度の新体力テストで改善を図る。

Do：取組の内容

- (1) アンケートの定期的実施
- (2) 体育授業の充実
児童が主体的・対話的に活動するための授業作り
- (3) 校内の体育的活動の充実
全校児童の運動の習慣化及び体力向上の取組
- (4) 県外視察の情報共有
教員の授業力アップ

●工夫したこと

- (1) 体育授業の充実
 - ① 場づくりの工夫(コートの数や場の数の設定)
 - ・T1、T2での連携
 - ・児童が自らの課題に合った場の選択・決定



小道具の活用



課題にあった場での活動

②一単位時間の授業展開の工夫

- ・活動の見通しをもたせる
スキルアップタイム(準備体操含む)→補助運動
→主運動→振り返り→整理体操
- ・振り返りの時間を重視したタイムマネジメント

③教え合い・学び合いの活動

- ・教師の具体的な声掛けの例
- ・声掛けの吹き出し
- ・アドバイスタイム、作戦タイム



④ICT活用

- ・動作の撮影、確認



- ・手本動画の視聴、比較
- ・ボール運動での作戦ボード
- ・アップをする時の音楽
- ・意見交換



技を撮影して動作確認



作戦会議

⑤視覚的支援(ホワイトボード・テレビ・掲示物)

- ・単元計画・授業の流れの視覚化
- ・めざす目標の明確化
- ・声掛けの吹き出し

授業の流れ

声掛け



単元計画

⑥運動量の確保(思考場面と運動場面のバランス)
・スキルアップタイム(単元に沿った準備運動)



単元に沿った準備運動

(2)校内の体育的活動の充実

- ・運動委員会による企画(ストレッチ、遊具ビンゴ、長縄大会)
- ・授業前のサーキットや単元に沿ったリズムダンス
- ・いきいき岡山っ子☆運動習慣カード
- ・チャレンジランキングの実施
- ・リズムダンス教室
- ・のびのびストレッチなど

みんなて姿勢を正そう!



委員会の宣伝動画



朝の会を使っでの活動

チャレンジランキング
にランクインするぞー!



縦割り班での長縄集会

タオルがあればお家でもできそうだね!



のびのびスタイル

Check: 取組の成果

○アンケートの集計では、両校で「運動やスポーツをすることが好き」「体育科の授業が楽しい」という児童が約90%に達した。

[アンケートの集計はこちら](#)

- スキルアップタイムを毎時間取り入れることにより、基礎的な動きや運動感覚の育成に繋がった。
- 活動できる場を増やすことにより、児童が自分で考え課題を改善していく場を選択、決定する主体的な活動となった。
- 児童同士の声掛けを意識して取り組ませることで、動きのポイントを比較しながら活動することができ、対話的な学びとなった。結果として技能の習得にもつながった。授業の中で「まだやりたい」など、前向きな発言が多く見られた。
- 授業で習ったことを休み時間に遊びに取り入れたり、練習をしたりする姿が見られた。
- T1・T2で授業を行うことで安全面の配慮や運動量の確保、細部にわたる指導、支援ができた。また、複数の指導者がいることにより、児童も安心して楽しく活動できた。
- 委員会での企画により、体を動かすことについて考え、体を動かすことへのきっかけづくりになった。
- チャレンジランキングの取組は、全校児童で実施することができた。クラス単位で行うことにより良好な人間関係作りに役立った。
- 県外視察を通して児童が主体的に活動することができ、授業作りや環境作りについて学び、伝達及び情報共有をすることができた。

Action: 今後の課題

- 体育主任・学年主任が中心となり複数年で運動領域を揃えることで、道具の準備・片付けや掲示物などを共有できるように年間計画の立案を行う。
- 運動委員会の企画についての反省を行い、改善点を明確にして来年度に繋げる。
- 兼務校の委員会の活動の把握、情報の共有、引継ぎを行う。
 - ・学校全体の取組となる来年度の体制作り
 - ・継続的に行うことができる取組
- チームティーチングの良さを生かした授業作り

◎体育授業の充実がもたらす波及効果

笑顔が溢れ、児童同士で声を掛け合いながら前向きに授業に取り組む姿が多く見られるようになった。

体を楽しく動かすことは、学校の活気に繋がることでもある。みんなが楽しく体を動かすことの価値を考えられるようになり、相手を思いやる心や協力する姿勢が育まれ、生きる力への習得へとつながっていく。運動の楽しさを授業の中で経験することにより、自分に合った運動との関わり方を見付け、生涯スポーツへのきっかけにもつながると考える。